

概要

3 × 3 の 9 マスでメモを取り思考を行う「マンダラート」の紹介です。

紹介

創造性を開放し、メモを通して効率的に思考活動を行う手段として、著者が曼荼羅図にヒントを得て開発したメモ・発想手法が「マンダラート」です。

従来のノートやメモ帳は、罫線に基づく「リニアな思考」にとらわれていますが、マンダラートでは、3 × 3 の 9 マスを利用して、メモを取り思考を行う「視覚思考」「空間思考」を行います。マンダラートの手法を「マンダラート・メモロジー」で発表した著者が、マンダラートという手法(= ソフトウェア) を動かすハードとして考えたのがマンダラート手帳です。本書の各章では、マンダラート手帳のマンダラリフィルをベースに 5W (Who、When、Where、What、Why) それぞれについて思考する方法を説明しています。

マンダラート手帳は、8 穴手帳になっており、本誌上で紹介されるリフィルサイズはシステム・ダイアリーと同じサイズ、穴ピッチとなっています。

交通会館ステイショナリーの店頭在庫で見ることのできるマンダラートリフィルが、まさにこれだったようです。

書影

作者

著：今泉 浩晃

発行日

1987.09.30

ISBN

ISBN4-534-01295-0